

総務常任委員会 所管事務調査 報告書

1 開催日時

令和7年5月20日（火曜日）午前9時58分～午前11時21分

2 開催場所

富谷市役所 306会議室

3 出席委員（6名）

委員長 畑 山 和 晴

副委員長 菊 池 美 穂

委員 畠 山 由 美

委員 佐 藤 浩 崇

委員 村 上 治

委員 青 柳 信 義

4 欠席委員（なし）

5 説明のため出席した者（4名）

総務部長 高 橋 弘 勝

市民協働課長 坂 爪 道 子

防災安全課長補佐 久保田 愛

市民協働課主査 最 上 亜由美

6 事務局職員出席者（1名）

主 事 平 塚 啓 太

7 調査事項

町内会の現状と課題について

8 調査報告

本市の町内会加入率の現状は、本市と同様の5万人以上10万人未満の市町村と比較すると加入率は高く、市民協働課の施策推進が功を奏していると思います。ただ、本市の約90%は新興住宅地で全国からの移住者が多く、そのため地域への愛着心が希薄となっていることもあるかと思われます。このような現状にあるにも関わらず、加入率が高いということは評価でき、市民協働課の取り組みが結果として出ているのかと思います。

ただ、そうは言っても、高齢化と若手の担い手不足は大きな課題であり、そのため、役員が固定され一部の人への負担が多くなったり、長く役員をやっているため、新たに役員となった人が意見を言いにくい環境になっているなど、新たに役員を引き受けにくい状況が生まれ、それに伴い新しい行事や提案等が通りにくい環境が出来上がってしまっていると感じます。

そこで一番に示さなければならないことは、町内会という組織の本来の意義を改めて大きく示すことが必要であることだと思います。隣の家の人顔が分かる事、特に災害等の際に町内会は必要不可欠であり、行政の手が回らない時には町内会が動き市民が協力して地域を守るということをもっと強く周知することが必要であると思います。

本市の町内会組織は、どこの町内会も活発に素晴らしい活動をしています。市民協働課には、今までの様々な取り組みはもちろん、町内会本来の意義を示し、そして、全世帯にこれらの取り組みや本来の意義を、広報やLINEを通し伝えることはもちろん、20代から50代の世代からのアンケートなどを取り、今の時代に合う町内会組織を構築すべきではないかと思います。

令和7年5月29日

委員長 畑 山 和 晴
